



岸社長の開会のあいさつ



中馬さんの音頭で乾杯



スライドでひびきのケアを紹介



10年を振り返る「ひびき通信」



# これまでのご愛顧に感謝

在宅サポートセンター生田の開設十周年を祝うサンクス・パーティがこのほど、当センター取締役から開会のあいさつがありました。あつた後、グループホーム入居者の主治医で当センターの生活ケアの理解者として医療面からご協力をいただいている中村クリニックの中村健院長より開会のあいさつがありました。

在宅サポートセンター生田の開設十周年を祝うサンクス・パーティには、日々お世話になっている居宅介護支援事業所のケアマネージャーの方々や医療関係者をはじめ、運営母体となっている日本ケア創造株式会社の株主の方々など総勢七十一名が参加されました。

## たくさんの励ましやお祝い、ありがとうございました

パーティでは、岸忠宏代表取締役から開会のあいさつがされました。また、株主を代表して生活とりハビリ研究所を主宰する三好春樹さんからも祝辞をいただきました。この

会長の音頭で「乾杯」。懇親に移りました。また、開場には、平成二十年十二月に創刊された「ひびき通信」を通じて開設十年を振り返るコーナーや、職員三十五名を

するコーナーなどが設けられました。参加された方々は、掲示されたひびき通信や職員紹介をみたり、用意された和風洋風の料理を召し上がりながら、懇親を深めました。

パーティの後半には、グループ事業所連絡会の中馬恵美子

## 在宅サポートセンター生田開設十周年サンクス・パーティ

## ホテルモリノ新百合丘で開催

### 居宅介護支援事業所や医療関係者など七十名が参加

# ひびき通信

平成 28 年版  
6 月

## グループホームで運営推進会議を開催

グループホーム響の運営推進会議がこのほど、当センターにて開催されました。同会議は、地域の方々やご家族と介護に関する情報を共有し連携を図ることを目的に開催さ

れています。この日の会議には、地域住民の方やご家族など八名が参加。管理者より入居者の状況やイベントについて報告がありました。参加された方々は、平田センター長の解説に熱心に耳を傾けていました。



パーティにご来場された方々よりいただいたお祝いや、励ましに対して、まずはひびき通信の誌面をもって感謝申しあげます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

プロフィールでの看取りケアについて、スライド上映による紹介がありました。参加された方々は、平田センター長の解説に熱心に耳を傾けていました。

パーティサービス響、グループホーム響、居宅介護支援事業所響、宅老所「ほっと生田」

ひびき通信は、在宅サポートセンター生田が発行する月刊情報紙です。

発行日：2016 年 6 月 1 日

発行所：日本ケア創造株式会社

発行者：岸 忠宏

住 所：川崎市多摩区栗谷 4-6-13

介護のことなら在宅サポートセンター生田へ

デイサービス響

グループホーム響

居宅介護支援事業所響

宅老所「ほっと生田」